寫眞週報

情報局編輯

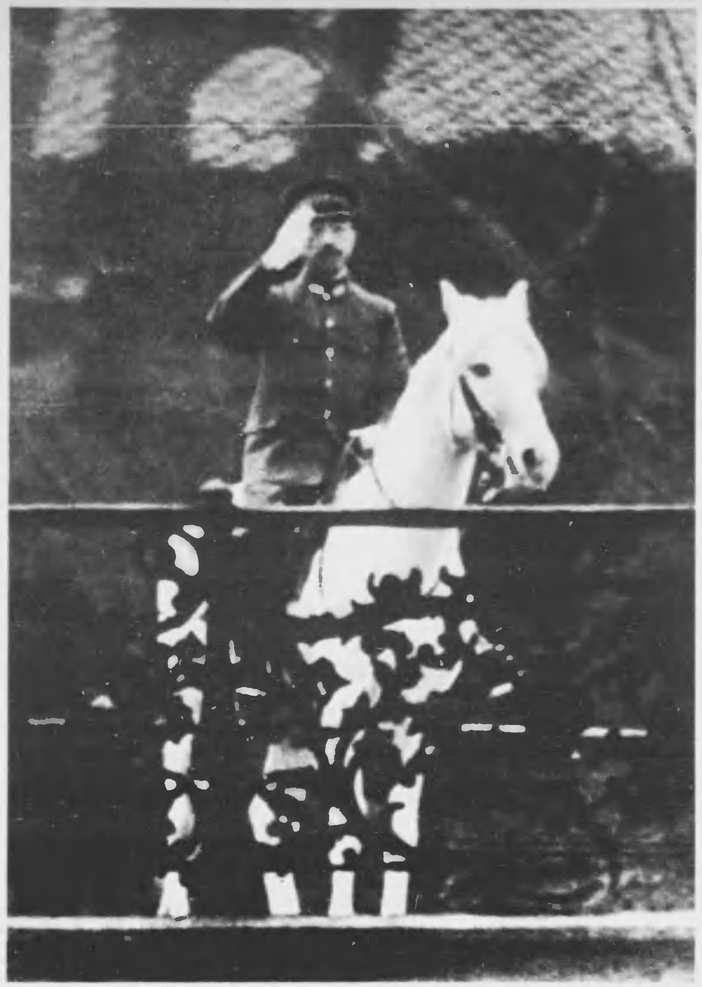
三月四日・第二百十號・十セン



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

天皇陛下　民草の赤誠にこたへさせ給ふ

二月十八日　宮城前廣場



一億國民が歓喜と感激のうちに迎へた戰捷第一次祝賀の日、二月十八日

この日赤誠溢れる民草は未明から宮城二重橋前廣場を埋めつくし、聖壽萬歳のどよめきは終日大内山の緑にこだましたが、天皇陛下には皇軍の大戰果に天機殊の他御麗はしく、午後一時五十五分御愛馬『白雪』に召させられ馬場中央に出御遊ばされ、萬生の赤誠にこたへさせられて親しく御拳手の御會釋を賜つたのである。はからずも民草の赤誠を嘉し給ふ至尊の御姿を拝し奉つた有難さ、身にあまる光榮と廣場を埋めるものはたゞ感激の涙にぬれて聖壽の萬歳を絶叫し、國歌を奉唱したのであつた

また次いで午後二時十分、皇后陛下竝びに皇太子殿下には照宮、孝宮、順宮三内親王殿下と御同列にて橋上に御出まし遊ばされ、畏くも御手に日の丸の旗を打ち振らせられて萬生の萬歳呼をうけさせられたが、重なる光榮に會ふことを得た人々は今はたゞ戰ひ抜く決意を固めるのであつた

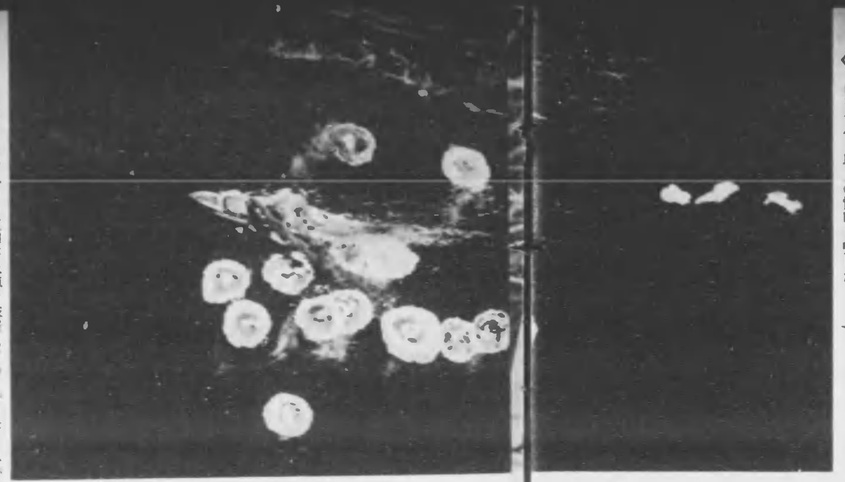


二月十五日 ガンジ

燃え上るセレター軍港――約百二十年間東亜十億の民族を壓政と搾取に呻吟せしめた鐵鎖が斷ち切られる日も間近かに、陷落直前のシンガポール島を見る ⇦



敵はシンガポール島からの脫出を企圖して、多數艦船をシンガポール港周邊に集結したが、悉くわが急襲の餌食となつてダンケルク以上の慘敗を喫した ⇦



一發、一發、必中の巨彈が敵陣を破摧してゆく。イギリスが世界に誇つた十八吋要塞砲に挑むわが砲兵部隊の活躍 ⇦



ジョホール水道も遂に越えた上陸以來六十餘日、凡ゆる困難を克服してシンガポール島に上陸第一歩を印したのだ。最後の止めを刺すべく意氣揚がる〇〇部隊 ⇩

★

シンガポールの陷落と共に老英帝國の弔鐘はひときは高く鳴り響く。しかも當のシンガポール島は二月十七日その名も昭南島と生れ更り、今後名實共に南方共榮圏の一大據點として大東亞戰完遂に不動の態勢を整へることになつた

わが强力な軍政の下、昭南市の復興ぶりは全く目覺しい。完全な治安の維持はいふまでもないが、瓦斯水道、電燈の復舊は忽ちにして成り、軍の統制下に市場の開設、各官廳の事務の開始、銀行商店の開業等と、昭南市は戰前の繁榮を思はせる明朗さを急速調にとりもどしつゝある

なほ、また陷落後僅か五日にしてジョホールバル昭南市間二十六・四キロの鐵路は完全に復舊した、即ちわが鐵道部隊は不眠不休の努力によつて、急速にコースウエー橋の修理に成功、二月二十日早くも昭南市を出發した處女列車は逞しい復興譜を奏でながらジョホール水道を突破して遂にジョホールバール驛に滑り込んだのであるが、これによつてマレー半島を縱貫長驅バンコクに至る三千キロの鐵道は全部開通を見るに至つたのである ⇩

★

わが鐵牛部隊は地軸を搖つてシンガポール市内に迫る。マレー戰線を縱斷すること千百キロ、無限軌道の轟きは、今シンガポール港に世紀の凱歌を奏でたのだ

撮影　同盟通信社
　　日本映画社
提供　東京朝日及毎日新聞社

ポール陷落ナ





アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二月十五日 シンガポール陥落





戦意を失つて手を挙げる英本國兵の群――シンガポール島攻略戦に於いてわが陸軍部隊が捕虜した俘虜の數は、軍司令官パーシベル中將以下約七萬三千名である





⇨マレー方面帝國陸軍部隊は本十五日午後七時五十分シンガポール島要塞の敵をして無條件降伏せしめたり：：あゝ忘れ得ぬ感激、敵は白旗を掲げてわが軍門に降つた。白旗持つはニューピヤン代將、英旗持つはトランス代將、右端はパーシバル中將

⇧難攻不落を誇つたシンガポール要塞もあつけなく潰え去つた。大東亞戰爭史に殘る不滅の一頁――市外フォード會社跡に於ける降服會議に望む山下最高指揮官

⇦ラッフルスの像も今は空し。敵種の身をいとも存氣に打笑つてゐる俘虜の姿にイギリスの將來が暗示されてゐる

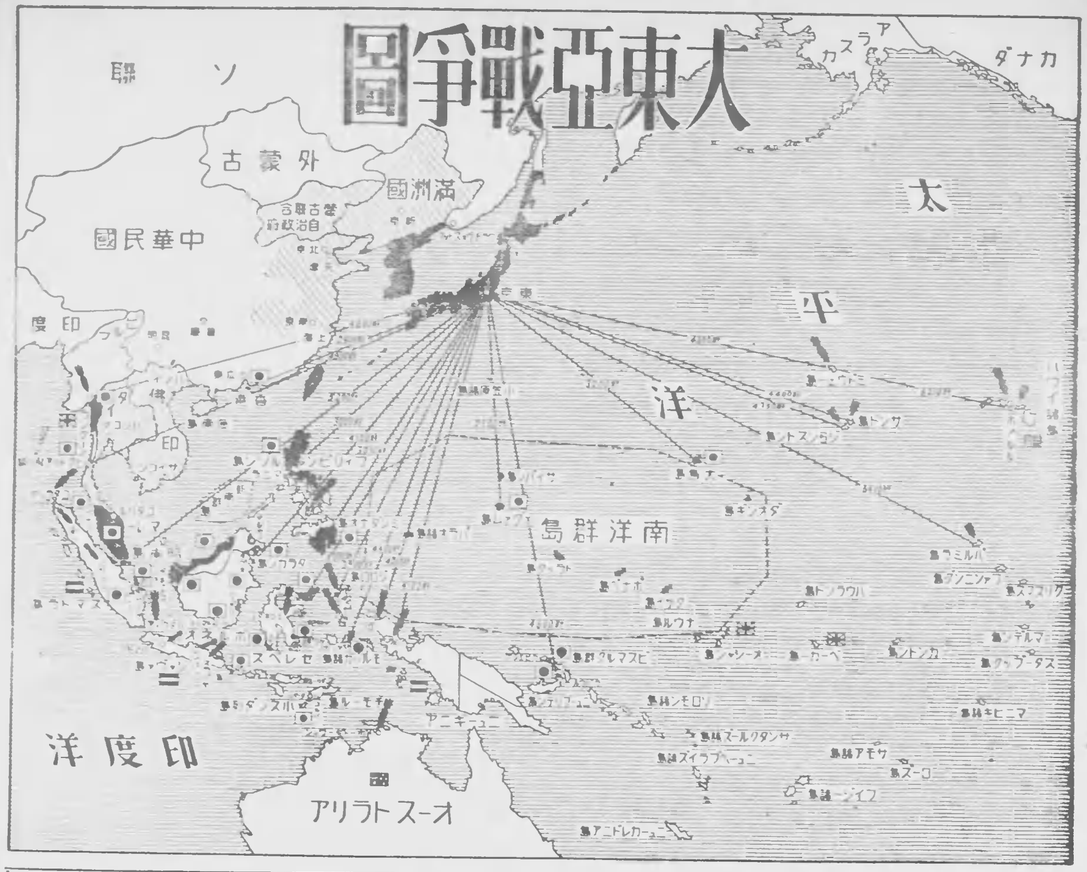




⇦征旅千百キロ、ジャングルも濕地も、そして灼熱の太陽も、今日の日を目指して克服して來たのだ。萬歳！萬歳！

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

大東亞戰爭圖



大東亞戰爭日誌

—二月—

十五日
●未明、陸海軍は緊密なる協同の下にバンカ島メントク附近の敵前上陸に成功、夕刻、同島東岸の要衝パンカルピナンを占領
●南方方面帝國陸軍最高指揮官は陸軍大將伯爵寺內壽一、同總參謀長に陸軍中將塚田攻なる旨發表

十六日
●強力なる陸軍新鋭部隊は十五日早朝ムシ河を渡江、さきにパレンバン飛行場を占領せる陸軍落下傘部隊と協同して本日南部スマトラ島の要衝パレンバンを完全占領
●海空軍はチモール島クーパンを空襲、敵砲臺ならびに兵舍倉庫等二十棟を燒燼、同方面所在の敵艦三千トン級一隻を擊沈

十八日
●海空軍はスラバヤ大空襲を敢行、來襲敵機十三機を擊墜、同港潛伏中の新鋭巡艦五隻に命中彈を浴びせ大損害を與ふ

十九日
●スマトラ、ジャヴァ方面を制壓中の陸空軍は、バイテンゾルグ飛行場（バタヴィア南方）を强襲、來襲敵機二十七機を擊墜破
●更に陸空軍は午後五時大擧してバンドン西飛行場を猛襲、來襲敵機十九機を擊墜破
●陸海軍は緊密なる協同の下にバリ島南部の要地デンパサルを完全占領
●海空軍は濠洲本土北岸、敵最大の海空軍基地ポートダーウィンに對し大擊攻擊を敢行、所在敵艦船を覆滅、更に陸上重要軍事施設の大半を燒破、その戰果（一擊破同一所在敵艦船撃沈の部）二十六隻（一擊沈撃破艦船合計）六千トン級特設巡洋艦一、驅逐艦二、驅潛艇一、驅逐艦九（二擊破又は炎上せる陸上施設、東西飛行場格納庫を含む）、兵舍（二棟）、海軍司令部、官廳街、銀行（註）同港在泊中の病院船には攻擊を加へず

二十日
●未明、陸海軍は緊密なる協同のもとにチモール島クーパンおよびデリー（葡領）方面に敵前上陸を敢行。なほ帝國軍の作戰がポルトガル領に及ぶの止むなきに至つたので、政府は本作戰の目的が所在の英蘭軍兵力を驅逐するにあり、葡國政府に中立を維持する限り自衛上の目的達成の上は速かに兵力を撤收せんとするものなる旨發表
●海軍水雷戰隊所屬○○驅逐艦○隻はバリ島東方ロンボク水道において巡洋艦二隻、驅逐艦三隻より成る敵有力艦隊と遭遇、午前零時四十分砲火を開き、戰闘十分にして敵艦を擊沈二隻を擊破、他の一隻を大破、更に逃走を企てたる敵巡洋艦を追撃、午前四時十五分に至り再度これと交戰、また分離行動中の同隊驅逐艦一隻も急遽南下し來り、この敵を攻擊したが、敵はわが砲雷擊により損害を受け夜陰にまぎれて遁走

二十一日
●正午、マレー方面陸軍のシンガポール島要塞攻略戰における主なる戰果發表（一）俘虜（軍司令官以下總數約七万三千（特高級一千八百）ただし負傷兵約八千は前內主要ホテルに收容治療中
（二）鹵獲品—大威力重砲その他各種火砲約三百門、機關銃二千挺以上、小銃約五万挺、戰車、裝甲車を含む約二百輛、各種自動車約一万臺、自動二輪車約二百臺、彈藥、大威力重機關砲のほか極めて多數
（三）撃沈破—艦船一万トン級貨船一隻、五千トン級タンカー三隻、その他大小船舶多數

二十二日
●スマトラ、ジャヴァ、セルマ各方面に航空撃滅戰を續行中の陸空軍は二十一、二十二の兩日に亘り、ジャヴァ島バイテンゾルグ、カリジャチ、バンドン、ビルマ領トングー、パセイエル各飛行場に大擊攻擊し、米、英、[redacted]十九機を擊墜破



二月十五日
シンガポール陷落

ラッフルスがジョホール王からシンガポール島を奪取してから約百二十年。あゝ今、皇軍部隊は堂々ラッフルス廣場を行進して、シンガポール島が東亞に返り咲く日が遂に來たのだ

昨日に變つて南進日本の一大據點となつた昭南島だ。わが空の精鋭もここを基地として印度洋もその翼下に制壓することになるのだ
俘虜の印度兵も交つて飛行場の整備



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



⇨大型バスから小型自動車に至るまで敵の遺棄した自動車の数はおびただしい。持主の申出を待つ係りの兵隊さんもその整理には一苦労だ

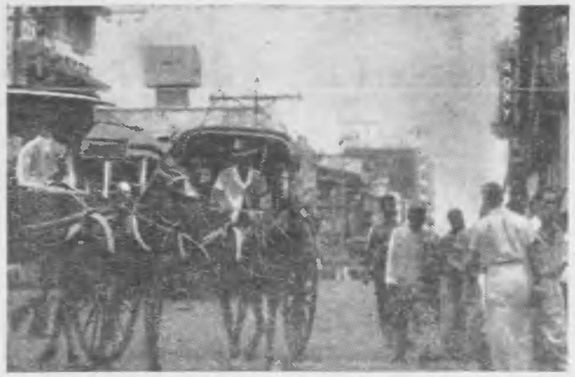
撮影　日本映画社

息吹くマニラ



戦禍、アメリカの場合と異なりマニラ市に踏みとどまったマルガルガス氏は、政長官の重責に下で、日本軍の警備に当たった

大マニラ市は米軍の焦土戦術に類する無謀な撤退と市民の逃げ行く一時的の都市となりかけたが、皇軍の入城で治安は確保され、マルガス行政長官の下に皇軍に協力する警察の努力で著しく平静を取戻し街の人出も日毎に多く、車馬の往来も目につき正に開戦前の繁栄をみようとしてゐる。各商店も軍當局の許可により開店を急いでゐるから復興も遠からずと期待される。マニラ電気の新設にかゝる市内電車も日毎にその数を増し大体百五十輌ぐらゐになつてゐる



⇦マニラの銀座エスコルタ街、市電も動き出し、カルマなどかなり賑やかさを取戻した



⇦新聞は早くも機能を回復して刻々の戦況発表とともに報道される

物資が不足して運転に円滑を缺くので五十仙以下一仙までの金額を記入した切符を發行しこれで代用させることになつた

市民に對する白米の配給も順序よく行はれてゐるが、何分治安の回復と共に市民が續續帰つてくるので國立米穀會社では我が軍當局から許可を受け米産地たる中央ルソン各地に吏員を派遣することになつてゐる

市民の娯楽場である映畫館も現在はまだ一流館の開設をみてゐるに過ぎないが、近く一流館の開設も豫想されてゐる



⇨皇軍の入城によつて蘇生の思ひをした邦人たちは日本人倶楽部を中心に皇軍の協力によつて順調に生活再建の第一歩を踏み出した



マニラの印象

石坂洋次郎

マニラ市に入つて四五日しか經たないが、その間の見聞によつて自分に植えつけられた第一印象はいかにもと言つてしまつてゐるやうだ。われ〳〵日本人としてはこれをそのまゝに拱手傍觀して居るべきではない。彼等の中に眠つてゐる精悍且つ勤勉なアジア民族の意識を呼び醒まし、東亜の同胞として、相協力して白人の侵略に抵抗し得るやうな民族に育て上げてやらなければならない。

今日の段階に於ける、聖戦の最も大いなる意義は、茲に存するものと思ふ

（前線出發の日を明日に控へて。一月十日午後）

ウェイやニューマニラのあたりには瀟洒とした住宅が木の間がくれに散在して居る。一歩横町に足を踏み入れると、塀に塗れた粗末な家々が軒を並べて狭苦しく押し並んで居る。通行人を見ても、住民はもとより支那人あり白人あり混血種あり從つて言葉も英語、スペイン語、タカログ語等雑多なものが用ひられてゐるやうだ。見こうると、大抵の人間が二、三種の言葉を喋つてゐる。器用と云へば器用だが、その代りどの國の言葉もひどくお粗末なものになつてしまつてゐる。そして言語の上に見られる此の軽薄性はそのまゝマニラ市の性格であるとも云へよう。日本人は一般に外國語に習熟することが不得手だと云はれるが、此處に來てみて、それは寧ろ日本人の一長所を示すものではないかと思つた。われら日本人の血はそれだけ純粋であり、われら日本人の母國に對する愛着はそれだけ深いことを意味するからである

『旅の恥はかき捨てゝ』といふ諺にほり、人間は家郷を離れると、とかく無責任な氣持に陷り易い。市内を漫歩してゐる外人達の様子を見ても、戦争はどこにあるといつた風なだらしの無い恰好をしたものが多い。こんな外人共に滯山住まはれ、しかも彼等に頭を抑へられてゐる住民達こそ氣の毒千萬な話である

住民はわれ〳〵日本人にとつて決して赤の他人ではない。彼等の顔や皮膚を見ても分る通り、我等と彼等は同じ血の流れから分れたアジア人種である。これが長い間白人達の搾取と弊政に喘いで來た結果、今日の彼等はすつかり骨抜きされた意氣地の無い存在になつてしまつたのである

我々報道班がマニラに入城して以來一週間になる。街並は無血入城だけに靜かで戦つてゐる。海岸通りのドライヴ・ウェイには夕方ベンチに、椅子に散策者のどかな姿を見るのだが、考へてみれば散策などしてゐられる身分ではない筈だ。米國依存の一路道を歩いて來た彼等の經濟、政治、文化、様々の分野に於てこのやうな方策があるのだらうか。食糧難、生活難が既に眼前に迫つてゐるではないか。誰れに永い戦爭生活は要に獨自の文化を持つ力を失つてゐるのではなからうか。私はマニラに來る道で多くの町や部落を通り宿泊もした。そこでどんな小さな町にも美容院を見たが、然し本屋といふものがなかつた。化粧品屋の店頭に少しばかり米國の三文小説が並んでゐるのを認めただけに過ぎなかつた。米國の愚民政策に彼等は巧に乗ぜられて、知性を失ひ、求知心を喪失してしまつたとでもいふのだらうか。既に山間に逃げのびて姿を隠なつた家には婦人の衣裳が

那人あり白人あり混血種あり從つて言葉も英語、スペイン語、タカログ語等雑多なものが用ひられてゐるやうだ。見こうると、大抵の人間が二、三種の言葉を喋つてゐる。器用と云へば器用だが、その代りどの國の言葉もひどくお粗末なものになつてしまつてゐる。そして言語の上に見られる此の軽薄性はそのまゝマニラ市の性格であるとも云へよう。日本人は一般に外國語に習熟することが不得手だと云はれるが、此處に來てみて、それは寧ろ日本人の一長所を示すものではないかと思つた。われら日本人の血はそれだけ純粋であり、われら日本人の母國に對する愛着はそれだけ深いことを意味するからである

『旅の恥はかき捨てゝ』といふ諺にほり、人間は家郷を離れると、とかく無責任な氣持に陷り易い。市内を漫歩してゐる外人達の様子を見ても、戦争はどこにあるといつた風なだらしの無い恰好をしたものが多い。こんな外人共に滯山住まはれ、しかも彼等に頭を抑へられてゐる住民達こそ氣の毒千萬な話である

住民はわれ〳〵日本人にとつて決して赤の他人ではない。彼等の顔や皮膚を見ても分る通り、我等と彼等は同じ血の流れから分れたアジア人種である。これが長い間白人達の搾取と弊政に喘いで來た結果、今日の彼等はすつかり骨抜きされた意氣地の無い存在になつてしまつたのである

我々報道班がマニラに入城して以來一週間になる。街並は無血入城だけに靜かで戦つてゐる。海岸通りのドライヴ・ウェイには夕方ベンチに、椅子に散策者のどかな姿を見るのだが、考へてみれば散策などしてゐられる身分ではない筈だ。米國依存の一路道を歩いて來た彼等の經濟、政治、文化、様々の分野に於てこのやうな方策があるのだらうか。食糧難、生活難が既に眼前に迫つてゐるではないか。誰れに永い戦爭生活は要に獨自の文化を持つ力を失つてゐるのではなからうか。私はマニラに來る道で多くの町や部落を通り宿泊もした。そこでどんな小さな町にも美容院を見たが、然し本屋といふものがなかつた。化粧品屋の店頭に少しばかり米國の三文小説が並んでゐるのを認めただけに過ぎなかつた。米國の愚民政策に彼等は巧に乗ぜられて、知性を失ひ、求知心を喪失してしまつたとでもいふのだらうか。既に山間に逃げのびて姿を隠なつた家には婦人の衣裳が

フィリピン雑感

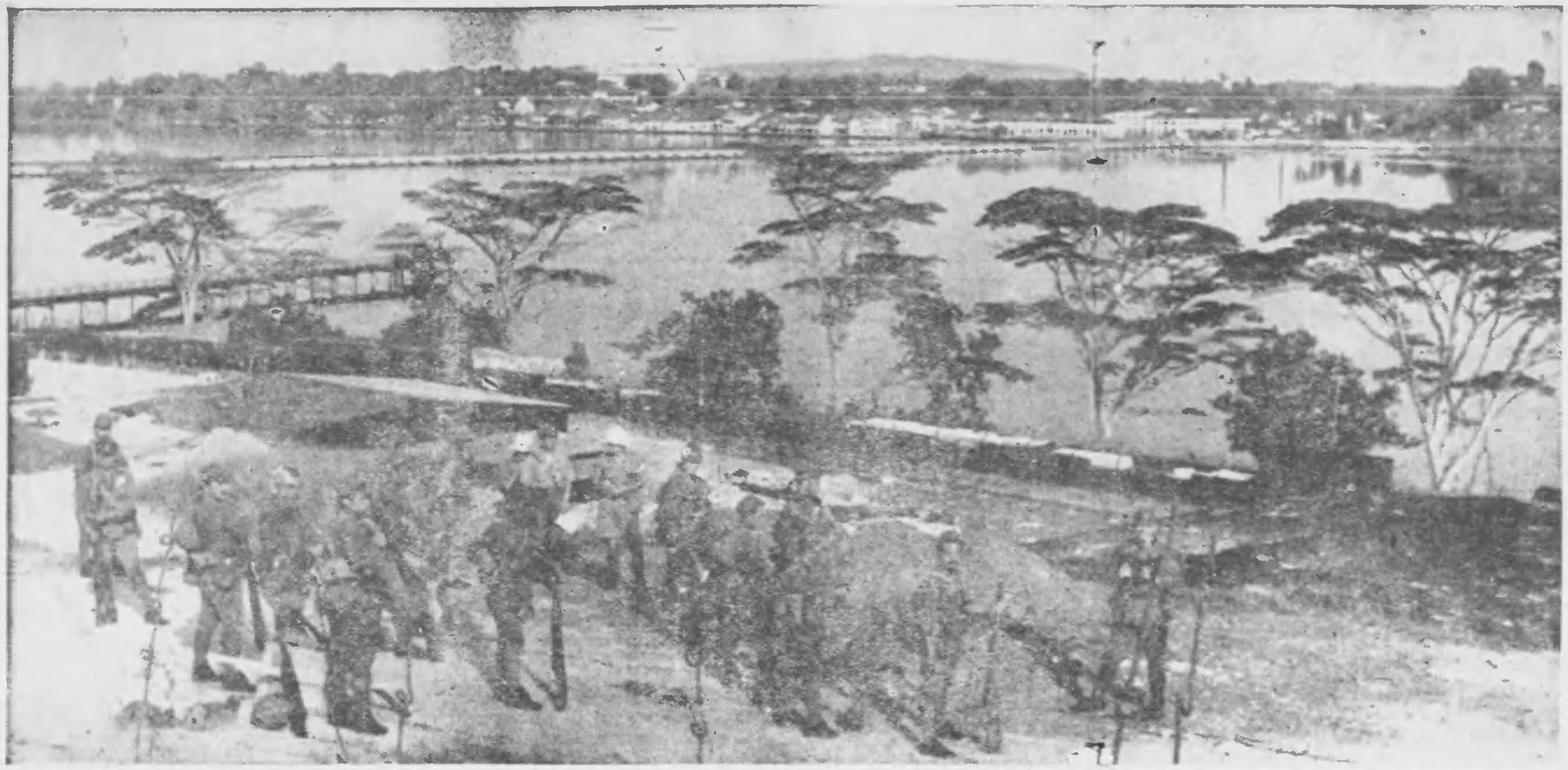
今日出海

帝国軍艦旗翻る

昭南島セレター軍港



堂々とセレター軍港に入る海軍陸戦隊



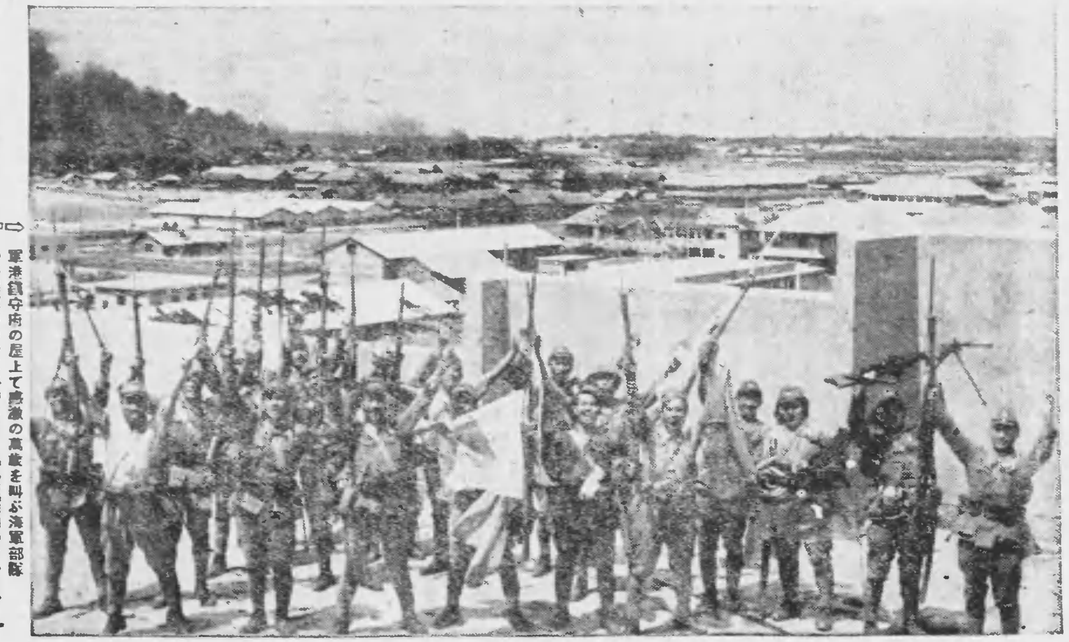
わが海軍部隊はイギリス東洋最大の軍港と謳つたセレターを二月十四日完全に占領した

セレター軍港はイギリス東洋艦隊の根據地であつて、イギリスがワシントン會議で日英同盟を廢棄してから總工費二千百万ポンドの巨費を投じて築工、いまから四年前に竣工式をあげた。シンガポール全島の要塞化と相俟つて、この軍港さえあれば東洋におけるイギリスの地位は永久に不動だ。日本何するものぞ」と豪語したのも今は空しく、セレター軍港鎮守府上にはユニオンジャックに代つて帝國軍艦旗が翻るとはためいてゐる

五万トンの戰艦を收容し、巡洋艦九隻を一時に入渠できると誇つた浮ドックの施設まで持つた同軍港も皇軍に對しては何ら威力を發揮することはできなかつたが、昭南島として更生したわが軍港として、早くも西南太平洋を睨み、印度洋の咽喉元を扼し堂々と帝國海軍の根據地として一歩一歩を加へたのである

⇧ 掃滅を終り、セレター軍港は完全にわが手に歸した

撮影　日野海軍報道班員

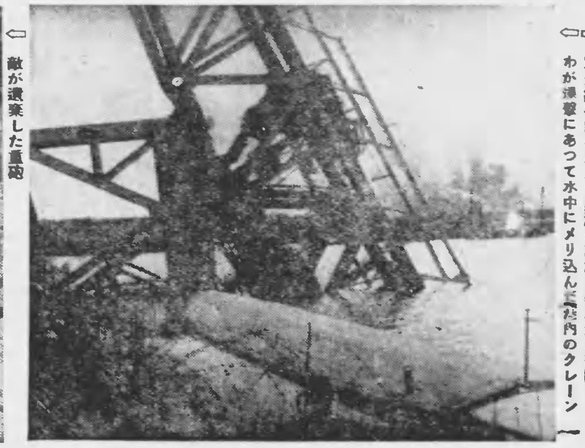


⇦⇨ 軍港鎮守府の屋上で艦船の高歌を叫ぶ海軍部隊

わが爆撃にあつて水中にメリ込んだ港内のクレーン



⇦ 敵が遺棄した重砲



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

新戰場辭典

ラングーン



⇧ ラングーン市の西部地域

モールメン、マルタバンの陥落を抜いて破竹の進撃を續けるわが軍は、二月十八日ピリン河を渡河し、双向ふ敵軍に連接の遑なからしめ、一路ラングーンへと進撃を續けてゐる。向ふ敵なき戰場の前には、むろんラングーンの英軍も日ならずして崩れ去るであらう。そして全ビルマ平定の聖戰はいよ〳〵酣となつてゆくことであらう。この機會にビルマの首都ラングーンに暫し目を瞠つてみよう

ラングーンといへば、何よりもビルマ・ルートの基點としてわれわれにとつては心憎い所であつた。日本をあてつけに、援蔣物資を滿載した米英の船舶が太平洋や印度洋を我が物顏に航行して、ラングーンに荷揚げされ、こゝからラシオ及びミチナに至る狹軌鐵道、或ひはラシオに至る自動車路、またはバーモに至る水路の三ルートによつて國境に達し、重慶へと送られたのであつた。將政權が香港や佛印からのルートをいち早く失つても不敵な面がりをいふことができたのは、實際このビルマ・ルートがあつて米英を頼みにできたからであつた

がしかし、東亞の情勢は今日に近いアキャブたゞ一つとなるラングーン河北岸は埠頭や倉庫が立ち並び、その後方が繁昌な商業地となつてゐる。南岸は郊外地ダラであり、こゝには巨大な精米工場と象を使役する製材工場がある

商業地區の後方から北部にかけて高臺となつてゐるが、この山手地區は軍管區として軍の管理する特別區域である。ビルマ第一の有名なシュエ・ダゴン・パゴダ（黃金塔）はこゝに高々と聳えてゐるが、惡虐なイギリス人は、この







⇦ 屈臂りふ佛式の坐像　⇦ 橫臥せるつてゐる佛陀



⇦ ブザンダウング入江岸の精米工場

ゴダ（佛塔）の境内の一部はもちろん、いたるところ佛域を荒して要塞化してゐると傳へられる。このパゴダの東方が美しいローヤル湖で、このあたり一帶巨大な樹木が鬱蒼として一大公園をなし、雲表に輝く黃金塔と相和して絢爛豪華な眺めをなしてゐるといふことである

なほイギリス人が東洋一と誇稱し、今次のビルマ作戰以來わが荒鷲の好餌となつてゐるミンガラドン飛行場は、市の北方十五哩の地點にある

× ×

ラングーン市の人口は一九四一年三月の國勢調査では總人口約五十万、うち印度人は最も多くて約二十二万六千六百、續いてビルマ族十六万六千、ビルマ族以外のビルマ國人九千五百、支那人四万六千五百となつてゐる。從つてラングーンはビルマ人の町といふよりはむしろ印度人の町といふ感じが深い

由來、以表制夷の奸策に長ずるイギリス人は、こゝでも印度人とビルマ人との反目の上に自己の安定をはかつてきたが、かゝる非道に天罰の加へられないはずはなく、今や日一日と皇軍の鐵蹄の響きが近づくにつれ、彼等の狼狽ぶりはその極に達してゐる模樣である。傳へられるウー・ソー首相逮捕の如きも、もし事實とすれば、如何に彼等があわてふためきながらも最後まで醜惡を覆はうとしてゐるかを示すもので、その心情の陋劣さはむしろあはれむべきものがある

だが最早、何としても彼等の命數は盡きた。信仰に生きるビルマ人は、恐らくこれを因果應報として心中快哉を叫んでゐるにちがひない。そして、東條內閣總理大臣が議會で明言したやうに『ビルマ人のビルマ』を許容するわが方針に感泣し、皇軍のラングーン入城を待ち焦れてゐることだらう

（寫眞は日本ビルマ協會提供）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

落下傘部隊はこのやうに育てられた

陸軍

二月十四日、スマトラ島パレンバン油田地方の上空に忽然と降つて湧いたわが陸軍落下傘部隊は、敵の狼狽する中を隼の如く降下し、接地とともに忽ちにして附近一帯の敵陣を蹂躙し去つた。この思はざる奇襲に、蘭印の要島スマトラは一挙に心臓部を制せられ、米英蘭必死の抵抗線メンダ列島の陣地は先つここから崩れはじめた



一陣の強風に飛び散つた落花の如く今敵陣の眞只中に突入する ⇩

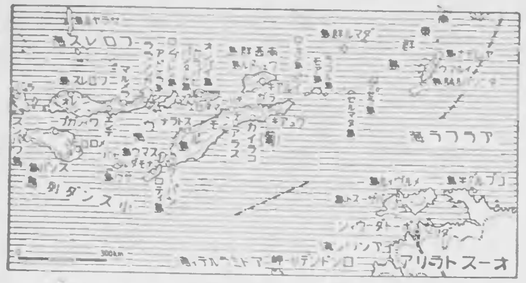


○○基地の朝は爽涼と明けた 日頃の腕に物見せる日だ ⇦

新嘉坡攻略の橋頭堡 チモール

帝國陸海軍部隊は二月二十日未明、チモール島のポルトガル領に屬するデリ！に、蘭領に屬するクーパンにそれ〳〵敵前上陸を敢行、こゝに策動してゐた英蘭軍を徹底的に撃破、戰果を擴大してゐる

チモール島はスンダ列島の東端に位する四國ぐらゐの大きさの小島であるが、蘭印の要港スラバヤから約千二百キロ、濠洲の要港ポートダーウィンからわづかに八百五十キロ、昭南島から約二千キロの距離にあり、英、蘭、濠を結ぶ敵性経路の結び目にあたる



⇦ わが軍の進攻に歓呼の聲をあげるオセアニア人



⇧ デリー市の一角を占領後間もなく撮影された英蘭軍の総督官邸

アリラトスーオ



⇨ 我が第一陣上陸を敢行したポルトガル領デリー市

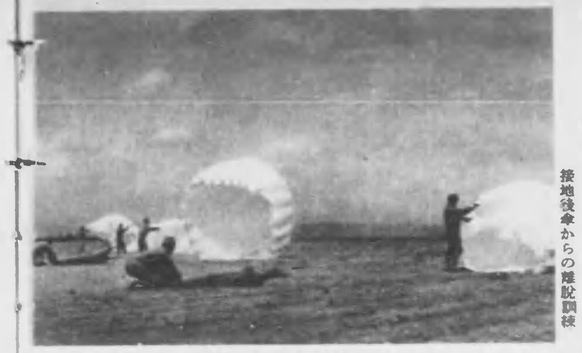
敵軍はポルトガル領チモール總督の強硬な抗議にもかゝはらず、中立國たる立場を無視して侵入以來、占據策謀してゐたのであつた。この地にわが武力の及んだことは、全蘭印はもとより濠洲の咽喉元を扼すやうなもので、北部濠洲最大の要港ポートダーウィンの攻撃とともに、今や濠洲の狼狽はその極に達してゐると傳へられる。もとより今次の上陸敢行は帝國自衛の立場よりたされたもので、ポルトガルが中立の態度を維持する限りその目的達成の上は、速かに兵力を撤收することは政府聲明にもあるところで、わが國とポルトガルとの友好關係に變も變りのないことと勿論である

ポルトガル領チモールのデリー市へは昨年わが國との間に定期航空路が開かれ、川西式四發大飛行艇が本土を距たること六千數百キロ、赤道をとび越えて親善の翼を伸ばしてゐたことはまだ記憶に新らしい。また蘭領クーパンはチモール島隨一の飛行場があり、英濠終の重大航空基地であつた

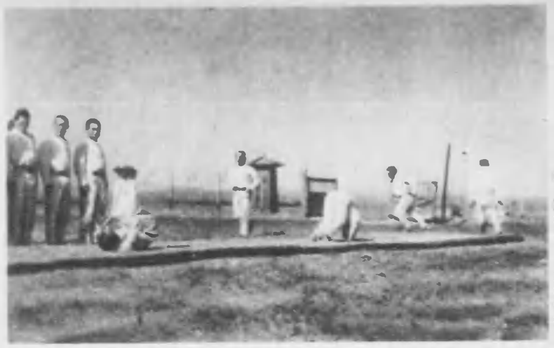
人口約五十万、オセアニア人が大部分で歐米人、支那人各二千、他にアフリカ人、印度人などがゐる。コーヒー、ゴム、煙草、棉花、椰子等が輸出され、金、石油を産出し、林業、牧畜も盛んである

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

落下傘部隊はこのやうにして育てられた



接地後傘からの離脱訓練



脱を柔かにする基本體操



落下傘のたゝみ方を習ふ



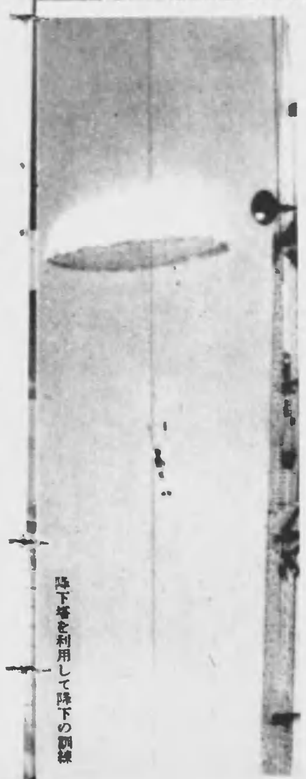
機から離れる訓練

落下傘降下の訓練



糸が切れてドッと體が落ちる

撮影　陸軍航空本部



降下塔を利用して降下の訓練

陸軍航空本部部員　陸軍中佐　**野中俊雄**

先づ朝から晩まで體操また體操、身體がゴム毬のやうに彈力あるものになることが必要である。身體が出來ると共に、精神も極めて爽快になる。健全なる精神は健全なる身體に宿るとは、良くぞ言つたものだ。接地の際にドシンと落ちては衝撃が強い。コロリと轉ぶと衝撃の力が身體中に散つて樂くなる。體操で十分鍛へた上でコロリの稽古である。また飛行機から跳びだす要領が拙くては開く傘も開くまい。模型を作つて跳び出しの稽古である。踏み切りを強く、身體を伸ばして。次は傘を身體に結びつける縛帶をつけて、ブランコの稽古である。ブラ〳〵搖つたトタンに吊つてあるのが脫れる

次は開いた傘にブラ下つて、高い所に吊り上げて、離されて見るとフワリと落ちてくる。そらもコロリと轉んで起きて、起き上り小法師の弟子入りである。落下傘降下塔を使つての訓練がこれである

自分の生命を托す落下傘である。どんなに作られ、どんなにして開くものか、良く知つて置く必要がある。自分で使ふ落下傘は、自分で念入りに拵む。いよ〳〵飛行機に乘つて降下である。

初めての時は、國民學校の生徒が遠足に連れて行つてもらふやうな心のときめきを禁じ得ない。準備を濟ませて飛行機の入口に身構へする。教官に『よしッ』と肩をたゝかれて、踏み切りも強く、パッと跳び出した。パサッと傘が開いた。開いた傘を見上げると、噫、何と美しいではないか。さうだ。この美しさこそ落下傘降下部隊の精神である。純忠至誠の表徴である

やがて土地に近づく、さあ、身構へ。さあ接地。コロリと轉んだのが早いか、パッと立つたのが早いか。立つのが早いか、縛帶を脫したのが早いか。と思つたら早駈『報告ッ○○伍長降下終りッ。異狀なしッ』『よしッ』報告するのもうれしい。またすぐにも降下して見たい。しかし、他の者が羨しさうに待つてゐる



激しい準備訓練を終へていよ〳〵基本訓練に移る



アッ！機から體が飛びだした



と、一瞬、傘は將に開かうとする



カンと強い衝撃、接地だ。ひきずられる體をすばやく戰闘態勢に直さねばならない

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

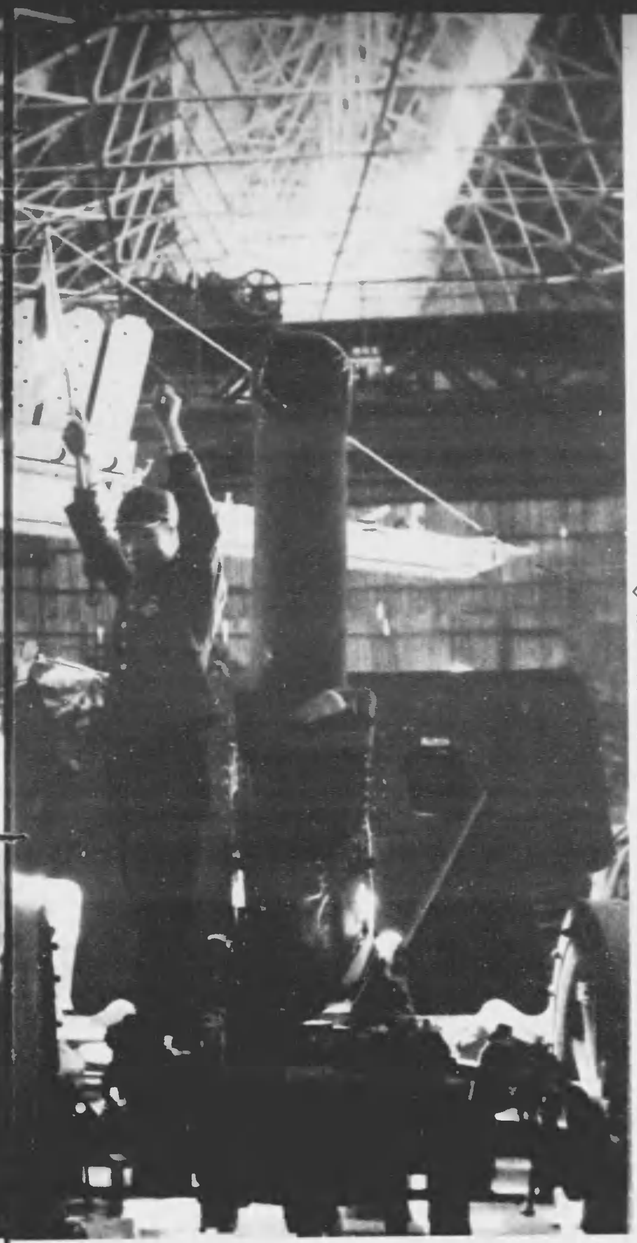
一億の萬歳唱和

押へに押へてきた戰捷の歡びであつた。み民われあゝ生けるしるしあり。今日、この日、この時こそ待ちに待てりと、一億國民の叫ぶ萬歳は天地をとよめかせて轟き渡つたのだ。高く、高く

こゝに戰捷第一次祝賀に當り謹んで聖壽の萬歳を壽ぎ奉ります。天地も拂けとばかり御唱和願ひます

二月十八日正午東條内閣總理大臣は一億歡喜の萬歳に聲高々と音頭をとつた







⇦ たうとうやつて來たなあ、俺達の作つたあの砲で、あの彈丸で。○○兵器廠に爆發する萬歳



⇦ 帝都では日比谷公園に戰捷祝賀の國民大會



⇦ この日、この時、大阪市心齋橋筋に揚がる萬歳唱和



⇦ 靈峯に谺する萬歳の聲。靜岡縣御殿場町



⇦ 丹那はんも番頭はんも、お店揃つて勝鬨あげる大阪市船場の商店（撮影　小石　清）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



⇦旗もちぎれよ、喇叭もさけよと、こ、長野市（一萬歳）の市民が市民大会で

⇦シンガホール、ハカンラクダ、ニツポンバンザイ、バンザイ、雪の山形にもかゝる少國民の歓呼（撮影　田中順一）



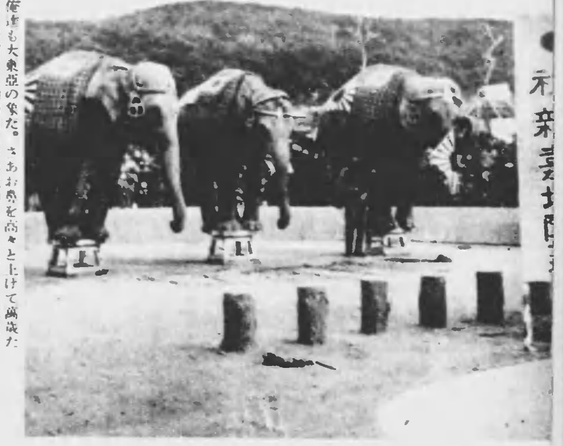
一億の萬歳合唱

⇦遠か南太平洋まで、露けと愛知縣三谷湾の漁船上でも（撮影　橋本満喜）



⇦偉くも大東亞の皇。さあお皇を高々と上げて萬歳した名古屋市東山動物園象の祭祝踊り（撮影　古海敏一）

⇦『さあ乾盃だよお亜さん』永生きした甲斐のあつたこの喜び。大阪府下にて（撮影　中藤　敦）



祝賀特別号

オ撃ちあなたは何を聞えたでせうか

1 昭南市、バンコク間三千キロのマレー縦貫鉄道はいつごろ開通の見込みですか、さあ、ジョホール水道のコースウェー橋が破壊されてゐるから四月末頃までせうネ、とつくに開通してゐてせう、いや、三月五日開通の豫定だつて……（一萬貳千）

2 シンガポール攻略戦で得た敵俘虜の數は、八千、一萬二千、三萬五千、五萬、七萬三千、十萬八千、三十萬（各貳萬）

3 わが海軍航空部隊が蘭領に對して最初の猛襲を敢行したのはメルボルン、ブリスベーン、ポートダーウィン、シドニー、ジエラルトン（各一萬貳千）現在のわが國人口は日露戦争當時の人口に較べて約何倍に增えたでせう、二、二倍、三、三倍、四倍（各一萬貳千）

4 ラッフルスといふ男は改造チヤーチル内閣に新入閣を傳へられる、前英マレー軍司令官で敵々の敗北に自國民から馬鹿をジョホール王から怒ひ取つた（八萬貳千）

5 皇軍のチモール島上陸は蘭領を極度に孤獨させたがそれはどういふわけでせう（一萬貳千）

6 フアルガスといふ人はフイリピンの大統領だつたが、マツカーサー軍司令官でいまなほコレヒドール島要塞にかくれてゐる、軍日政治家で行政長官としてフイリピン再建に努力してゐる（一萬貳千）

7 こんど皇軍の蘭領上陸したバンダ島はどの邊にありますか、蘭領とニューギニアとの間、ジヤワ島のすぐ東（各一萬貳千）

8 チモール島のダリーとクーパンはいづれもポルトガル領、ポルトガルの首都はリスボン、ダリーはポルトガル領ティモール島の首都（各一萬貳千）

9 ビルマの首都はマンダレー、シオマ、カルカッタ、シンガポール、ボンベイ（各一萬貳千）

10 一問十點としてあなたは何點でしたか

情報局移轉のお知らせ

情報局は去る二月二十一日より、畫帝劇から三宅坂の陸軍省本部に移轉しました

東京市麹町區永田町一ノ一


大東亞戰爭漫畫日誌
昭和十七年
蜂
ルゾンは次ぎつぎ血に染まる
敵出兵総額二十二億餘圓
製圖落下傘部隊初奇襲
ニトスーエ
敵軍司令官ウーイ大將降伏
英米陸立
佛印も危し度重なる脅迫
牛誕く蟬の島帝昭
昭和維
ヤリットスーオ
うわーっこんとはおいらの番だ！
杉　桂夫
シンガホールの陷落で、こんとは愈々濠洲の番だと覺悟してゐたが果してダーウインの大空襲「半英兵からの援軍とともにたゞ一匹しか助かりません
腹話術師の悲鳴
桜本　映一
火の手は迫る
弗箱印度
森熊　猛
おゝ帝國ハルト箱インド、背負つて逃げよし重くて背負へず
嬉遊の火は消えたり
小泉第郎
物いえば蓄聯ビアクアの風、民民にも外國にもつつかり開腹なとできなかつたらしい
労働爭議デマ
腹話術師
居信放送
ヒトラー
ムツソリーニ
ルーズベルト
チヤーチル
スターリン
蒋介石
ドゴール
ウエンデル
ウイルキー
ハル
ノックス
ウエーベル
ブルーム
ウエーベル
ブルーム
ウエーベル
ブルーム

寫眞週報　昭和十七年二月十二日　第三種郵便物認可　昭和十七年二月四日發行（毎週一回水曜日發行）　第一百十號

戰時第一回

貯蓄債券　報國債券



賣出　二月二十一日⇩三月二十日

一枚　十円・五円

大東亞戰爭感謝貯蓄

大藏省・日本勸業銀行

内閣印刷局印刷發行

（寫眞週報）A4倍概定圖は3割大の書本）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/